

写真

2 誰もが快適で安全・安心を感じるまち (都市基盤・環境)

主要指標

日々の生活の中で快適さ、安全・安心を感じる生活環境が整っていると感じますか？

目指す方向



※指標については 2022 年度以降の市民意識調査により設定します。

11 住み続けられるまちづくりを



3 すべての人に健康と福祉を



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



6 安全な水とトイレを世界中に



13 気候変動に具体的な対策を



誰もが暮らしの中で安全・安心を感じ、快適に住み続けることができるよう、生活基盤の充実を図り、持続可能なまちづくりを実現します。

基本施策 1 公共交通機関の充実

基本施策 2 道路の整備

基本施策 3 計画的な土地利用の推進

基本施策 4 上水道の整備

基本施策 5 下水道の整備

基本施策 6 公園・緑地の整備

基本施策 7 住宅の整備

基本施策 8 地域に調和した景観の整備

基本施策 1 公共交通機関の充実



あるべき
将来の姿

石岡市街地（中心拠点）と地域拠点とを結ぶ路線バスを幹線交通として高いサービス水準を確保しつつ、超小型モビリティを導入し、免許返納後の高齢者の代替交通手段として地域内の近距離移動を担う補助交通として活用します。

現状・これまでの取組（例）

- 「石岡市地域公共交通網形成計画」により、「石岡市立地適正化計画」と連携したコンパクト・プラス・ネットワーク型の交通施策を目指しています。
- つくば・土浦方面の交通については、朝日トンネル開通効果が表れており、いばらきフラワーパークのリニューアルオープンにあわせ、つくば・土浦方面との交流人口増が期待できます。
- 路線バスは利用の多い路線と少ない路線が顕著にあらわれ、運行に支障のある路線があります。

写真

グラフ

市民一人あたりの公共交通維持費用の推移

グラフ

居住誘導区域内の人口密度の推移

課題（例）

- 車社会の浸透や人口の減少、都市機能の拡散により、公共交通機関の利用者は減少傾向にあります。
- 路線バスは利用の多い路線と少ない路線が顕著にあらわれ、運行に支障のある路線があります。
- 公共交通の利用者は減少しているものの、高齢化が進む中で、公共交通の重要性が見直されています。
- 移動の不安から、免許返納に踏み切れないという意見があります。
- 乗合いタクシーの利便性の向上が課題であり、市内巡回バスの再開を望む声があります。

関連計画

- ・ 石岡市地域公共交通網形成計画 (2019（平成31）年3月～令和6年3月)
- ・ 石岡市都市計画マスタープラン (平成29～令和18年)
- ・ 石岡市立地適正化計画 (平成31～令和20年)

